

# 「千葉大学病院での 産科危機的出血への対応」 —“コードむらさき” プロジェクト—

**講師： 生水 真紀夫**

(千葉大学大学院医学研究院 生殖機能病態学)

**田中 宏一**

(千葉大学医学部附属病院 周産期母性科)

**日時：2012年 2月26日 日 15時-17時**

**会場：千葉大学医学部附属病院 教育研修棟1階  
千葉大学大学院医学研究院附属 クリニカル スキルズ センター**

**共催：NPO法人千葉医師研修支援ネットワーク**

☆2010年4月「産科危機的出血への対応ガイドライン」が関連5学会によって提言されました。各周産期施設には、ガイドラインに基づき院内マニュアルを整備しシミュレーションを繰り返すことが望まれます。千葉大学周産期母性科では、この作業に早くから着手、独自の対応ガイドラインを確立し、これを“コードむらさき”と名付けました。今回、院内および院外の関連各位に、“コードむらさき”について知っていただくとうこの講演を企画いたしました。

★本講演は、同日に開催される「第3回周産期急変対応セミナー」のプログラムに含まれています。セミナーの全プログラムに参加を希望する方は、事前の申し込みが必要です。